

I・TOP横浜ラボ「都市部でのスマート農業」 市内の農地で実証実験を予定する提案を採択しました

横浜市は「I・TOP横浜」を通じて、IoTやAIなどのテクノロジーを活用した生産性向上や社会課題の解決への貢献、新たなビジネスモデルの創出に取り組んでいます。

この度、横浜市内の農業従事者が耕作する農地において、都市農業における農作業の省力化、農作物の栽培支援、営農環境の改善等をもたらす新たな製品・サービスの提案を「I・TOP横浜ラボ」の取組として募集し、6件の提案を採択しました。

今後、農業従事者等とのマッチングに向け個別調整を行ったうえで、準備が整った取組から順次開始します。




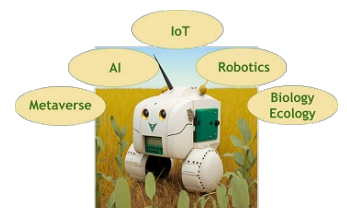
【野菜や果樹など様々な農業生産が行われている横浜（イメージ）】

1 募集内容

件名	「都市部でのスマート農業」に関する実証プロジェクト
提案内容	都市農業における農作業の省力化、農作物の栽培支援、営農環境の改善等を実現する新たなIoT製品・サービス
実証実験実施時期	農業従事者等とのマッチング成立後、順次実施（令和5年12月までを予定）
実証実験場所	市内の農業従事者が耕作する農地

2 採択提案（全6件）※50音順

企業名	事業名・実証実験概要
 青葉電子株式会社	<p>【VR×IoT×AMRの未来農園】</p> <p>不整地走行が可能なAMR（自立走行搬送ロボット）や分光カメラを用いた写真画像、VR（仮想現実）を組み合わせることで、遠隔からの監視や果実の糖度測定、害獣検知と撃退を実現し、農地の見回り負担軽減を目指す。</p>



企業・団体名	事業名・実証実験概要・実証実験時期（予定）
<p>ソーバル株式会社</p> 	<p>【AI/IoT 活用による農業支援】</p> <p>農地に設置した IoT システムが取得した土壌や大気等のセンシングデータと、栽培状況（収穫量、病気発生有無、栽培施策等）との関連性検討や相関分析を実施することで、収穫量の安定化や品質向上に有効な栽培施策をノウハウとして蓄積し、手法の確立を目指す。</p> 
<p>東日本電信電話株式会社</p> 	<p>【新たな Wi-Fi 規格「IEEE 802.11ah（Wi-Fi HaLow™）」の活用実証】</p> <p>圃場内の監視を目的に、農地のような広範なエリアをカバーする新たな Wi-Fi 規格「IEEE 802.11ah」（消費電力を抑えて長距離の通信を実現する通信方式）を活用したカメラを圃場内数か所に設置し、映像伝送が可能か検証する。</p> 
<p>株式会社プラントライフシステムズ</p> 	<p>【カーボンニュートラルに寄与する植物開発】</p> <p>農地で菜種栽培を行う際に、特定波長帯の光を活用することにより、収穫量の増大、機能性の向上、季節特性によらない栽培の可能性及びCO2 吸収量などについて実験を行う。</p> 
<p>マクセルフロンティア株式会社</p> 	<p>【IoT による鳥獣被害対策、不法投棄・盗難対策通知】</p> <p>害獣捕獲監視システム「マタギっ娘 LTE-M 版」を用いて、農業従事者が設置した「わな」の捕獲及び農作物盗難の監視を行うことで見回り負担の軽減を目指す。</p> 
<p>株式会社マクニカ</p> 	<p>【スマート農業プラットフォーム】</p> <p>ビニールハウスでイチゴやトマト、キュウリ等の生産を行う農家に最先端センサーや栽培支援技術を提供。センサーから得られた情報を統合して可視化し、最新の営農ノウハウを活用した遠隔からのコンサルタント及び環境制御サービスの提供を行い、農業の DX 化、業務効率化、収量増、品質向上、労務管理などのサポートを行う。</p> 

お問合せ先	
【I O P 横浜に関すること】経済局産業連携推進課担当課長 松本 圭市 Tel 045-671-3591	
【実証実験のフィールド（農場）や抱える課題に関すること】	
環境創造局農業振興課長	朝倉 友佳 Tel 045-671-2606

別紙あり

【参考】

I □ T O P 横浜（I o T オープンイノベーション・パートナーズ）とは

横浜経済の強みである「ものづくり・IT 産業の集積」を活かし、IoT 等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。



I □ T O P 横浜ラボとは

「I □ T O P 横浜」の取組の一つで、実証実験の機会やフィールドの提供主体とともに、解決を目指す課題を設定し、I □ T O P 横浜参画企業から課題に沿った提案の募集等を行い、実証実験を通じて、社会課題の解決や製品化・サービス化を目指します。

I・TOP横浜ラボ

I・TOP横浜ラボでは、実証実験の機会・場の提供を行うフィールド提供主体とともに、解決を目指す課題を設定し、I・TOP横浜参画企業から課題に沿った提案を募集します。

提案については、横浜市、フィールド提供主体による審査・採択を行い、採択された提案は、実証実験を行うとともに、社会課題の解決、製品化・サービス化を目指します。

実証フィールドの提供
(例、横浜市の関連施設、市内事業所)

実証実験の提案募集

提案の採択

実証実験実施